

令和5年度 第2回北杜市明野地域委員会会議録

- 1 開催日時 令和5年12月6日（水曜日）
午後2時00分開会 ～ 午後4時30分閉会
- 2 開催場所 明野総合支所 2階 大会議室
- 3 出席委員 村田茂、丸山明、五味力、浅川律子、清水真理子、篠原大、雨宮智博、仲澤幸雄、
嶋津英樹、小泉優子
- 4 欠席委員 辻雅樹、篠原昌明、松野健一、丸茂正、浅川一恵、大柴政敏
- 5 事務局
明野総合支所長 由井克光
地域市民課市民担当 清水賢一、奥石静子
- 6 議 題 (1) 令和5年度明野地域委員会予算使途提案事業の進捗状況について
(2) 令和6年度明野地域委員会予算使途提案事業の予算について
(3) その他
- 7 公開・非公開の別 公開
- 8 傍聴人数 0人
- 9 署名委員 7番 清水真理子
8番 篠原 大

- 1 開会（事務局）
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 議 事（北杜市地域委員会設置条例第8条第2項の規定により、会長が議長を務める）

（議 長） 会議録署名委員に清水真理子委員、篠原大委員の2名を指名します。

（1）令和5年度明野地域委員会予算使途提案事業の進捗状況について

（議 長） 令和5年度明野地域委員会予算使途提案事業の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

（事務局） 令和5年度明野地域委員会予算使途提案事業の進捗状況について、資料に基づき説明。

（議 長） 令和5年度明野地域委員会予算使途提案事業の進捗状況について、事務局より説明がありました。ご意見・ご質問がある方は、お願いいたします。

（委 員） 納涼まつりは残額が出たので、その扱いの説明をしていただきたい。これだと100%使ったみたいになっている。

（事務局） 納涼まつりについては、開催の予定でしたが、台風の接近に伴い開催できなかったため予算執行を全て行うことはできませんでした。しかし、どうしてもキャンセルができなかったものについては、他の行事で有効活用していただきました。その後、第3回実行委員会を開いて事業報告、収支決算、監査報告報告を地域委員会事務局に挙げていただき、精算という流れになりました。先ほど説明したとおり、こちらの資料は11月1日現在となっているため、精算が11月2日以降のものは、今回は反映しておりません。次回以降の事業報告にて説明いたします。

（委 員） この資料だと、「中止したのに全額使ったのか」と思われてしまう。

（事務局） これは、あくまでも進捗状況なので、事業報告で精算についてご説明をいたしますが、よろしいでしょうか。

（委 員） はい。

（事務局） それから補足説明ですが、ダイコンまつりにつきまして、今年は猛暑ということで、ダイコンの出来が悪く、イベントの中止も考えましたが、袋を小さめにして、いつもなら1,000円での販売を500円にしたり、今年ダイコンの見本を置いたり、工夫をして実施いたしました。また、予めSNSやホームページで周知をしたり、受付で説明をしたりと体験をする方々に対して、ご理解いただいた上での参加を呼びかけました。そのおかげか、当日から現在に至るまでご意見は未だにいただいておりません。袋は1,198枚を販売することができました。

（議 長） 先ほどの質問に対しまして、事務局より説明がありました。その他にありますか。

（委 員） 地域づくり支援事業について、備考欄に書いてあるのは実施した行政区が6で、団体が

10ということか。

(事務局) 申請数です。

(議長) その他にありますか。

(委員) 河川清掃事業で、今年度実施なし3地区と言っていたが、そこはもうやる意思がないということか。

(事務局) 実施しない3地区につきましては、2地区は県の方で浚渫工事を行った河川だったため、川が綺麗な状態で、今年は清掃の必要がありませんでした。その中の1地区から実績報告についてご相談をいただき、提出は不要というお話をいたしました。最後の1地区につきましては、もう高齢化で、河川敷に降りるのも危険だという話をいくつかの地区から伺っておりますので、おそらくそういう事情ではないかと推察いたします。

(委員) 先ほど説明があった綺麗になっている川は、来年度もやらないかもしれないが、それでも予算が必要なのか。

(事務局) もし、河川清掃が必要だった場合、予算がなければお支払いできません。そのため、来年度も例年通り18地区に予算計上をいたします。

(委員) 高齢化でもうやらないという話も聞いている。河川清掃はやらなくてもいいのか、やらなくてはいけないのか。

(事務局) 浚渫工事は、一級河川が対象なので、いつも明野町をやってくれるわけではありません。そして、川が汚いということは、地域の景観が損なうこともあるため、地域のみなさまにお願いしているということです。

(事務局) 高齢化で、若い人の力や人数がない、だからできないというのであれば仕方ないと思います。その場合この河川清掃の報償費は、今後違うものに活用することもあり得ます。

(事務局) そもそも1級河川をその町民でやらなくてはいけないというわけではありません。みなさんができなくなったとなったら次の方法を考えていくことになると思います。

(議長) 先ほどの質問に対しまして、事務局より説明がありました。その他にありますか。無いようなので、令和5年度の地域委員会の予算使途提案事業につきましては、11月1日現在は、説明した通り事業実施予算に対して事業を申請しているということで、3月の年度末までの間に精算し、また、申請がまだしていないところにつきましては、申請する中で最終的な事業の執行をお願いし、まとめさせていただきます。

(2) 令和6年度明野地域委員会予算使途提案事業の予算について

(議長) 続きまして、(2)令和6年度の明野地域委員会予算支出提案事業の当初予算について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 令和6年度の地域委員会の予算支出提案事業について、資料に基づき説明。

～説明の途中にて～

(委員) 予算編成の基本方針で5%削減と決まっているといえはそうかもしれないが、イベントの事業の見直しも地域のためになるとしてはいたはず。昨年度祭りに対して、企業に丸投げしているような祭りならやらなくても良いと。しかし、明野の祭りは他の町とは違い、本当に手作りでやっていて、ダイコンまつりも全国から人が集まってくる祭りで、本当に地域に貢献している、有意義に予算を使っている。そういうことを全く無視して一律に5%減額するっていう事は、言っていることとやっていることが違うのではないか。結局補助金をなくしていく方向だとしても、地域委員や地域住民が頑張っているところについて評価をしてくれても良いのではないか。ほかの地域がどのように使っているかはよく知らないけれども、市長は(納涼まつりに)来るたびに「なんと素晴らしいお祭りでしょう。」と称賛して帰る。「皆さん本当に手作りでよく頑張っている」と褒めているのに、結局一律減額なのが、本当に納得いかない。

(委員) 同意見。私も市長さんからは「明野は委員の人たちの手作りでどこにも発注してなくて、皆さんが協力してやっていて本当に素晴らしい」と毎年聞いていた。一律とは言っても、そういった状況を市長さんは知っているのだから、それを踏まえて頂ければ、今後の明野もやりがいがあって、委員の人たちも頑張れるのではないかと思う。市長さんにそういう話をして改善を強く要望してほしい。

(議長) そのことにつきまして、今残っている予算で、報告等はただだけど事業が完了しているものを差し引くと、もう少し残っています。残額は市に返すのですが、先日の連絡協議会で、予算の使い方、例えばダイコンまつりの予算額を430万という枠を取り払ってにおいて、残った事業の予算をうまく活用させて450万にしてほしいという話をいたしました。昨年も同じことをお願いしましたが、昨年よりは話を聞いてくれたように思いました。ただ、その場合についても市長査定をしないと通らないと。ある程度期限がないと査定ができないということです。例えば、年度末になって、2月頃に予算が足りなくなったからあと20万増やしてほしいといっても担当者から順に上の方の査定が必要となるので、事業が終わった後に決定しても意味がないということです。いずれにしても、せめて明野に頂いた予算は、項目が違ってても100%利用できるように考えてほしいとお願いはしておきました。

(委員) 私は、要望的なものをお願いしている。今年は全国的にクマの被害があり、猟友会で捕獲をしている。他の動物に関しては補助金が出ているのだが、クマに関しては、ボランティアで行っている。罠にかけようとしても、都合よくクマが出てくるとは限らないので、結局一日がボランティアで終わることがよくある。クマは他の動物と比べても危険な動物で、自分たちの命を懸けてやっている。そのような状況なので、地域のためにやっていることに対して、手当をもらいたい。もし可能であれば、明野からそのような発信をしてほしい。

(議 長) 北杜市の会長、副会長が集まった時に色々な意見が出ていましたが、実際にはなかなか難しいという状況ではあります。御協力をお願いします。

事務局の説明であります、5パーセントの削減は決定しているという中で、事務局の方で科目ごとに内容を精査していますので、説明をお願いします。

(事務局) 令和6年度の地域委員会の予算支出提案事業についての続きを、資料に基づき説明。

(議 長) それでは説明について質疑に入りたいと思います。ご意見ご質問等がありますか。

(委 員) ダイコンまつりはこんなに減らして大丈夫なのかというのが一点。それから、いろいろな声を聞いているので、ここで質問したいことが一点。

明野少年少女合唱団には、明野の子どもがいないという声をかなり聞く。素晴らしい音楽を聞かせてもらって嬉しいのだが、明野の子どもが一人もいないのに明野の地域委員会の予算を結構高額で充てているのはいかななものか。明野の子どもが本当にいないのかも教えてほしい。

(事務局) 初めのころは、明野の子どものみだったのです。そのような中で、関東大会や全国大会に行くことが多く、保護者の負担を考慮して地域委員会で検討し、補助金を出すことが決定しました。その当時の補助金については詳細を調べていないため分からずに申し訳ないことですが、少しずつ予算を上げる時もありながら現在に至っています。

そして、現在明野小学校のメンバーは全くいません。中学校に1人いますが、高校生、大学生になり、他市、他県に移っていく子どもが増え、イベント等で出演する時は、こちらに戻ってきて参加しているようです。あとは、北杜市内の子、他市の子も毎週明野の総合会館に集まって練習をしていると、事業報告にはあります。

(委 員) 色々なところから集まっているのならば、明野だけで補助金を出さなくてもいいのではないか。

(委 員) こんなに高額である必要はない。ほかの事業と比べたら優遇されていると思う。もらっている側はもらうことに関して何も思わないのかが疑問だ。

(事務局) もらう側はそんなことは思っていないのではないのでしょうか。ただ、活動もちゃんとし、実績報告もきちんとしていただいています。

(委 員) 練習する時の交通費として使っているのだとすれば、それはおかしいと思う。

(委 員) 文化祭では、今回は納涼祭からお礼金が出たが、今までは歌ってもらってもお金は出していない。

(委 員) 誰かに、なんで明野の子どもがいないのに明野少年少女合唱団にお金をあげているのって聞かれても、説明ができないと困る。明野少年少女合唱団が他の町でも出演しているのなら、他の地域からも出してほしい。

(事務局) 先生が他の地に異動することは必ずありますので、新しい学校に行けば、そういう活動に賛同して、「明野にこういう団体があるからどう？」と誘われて今のような形になっ

てきたのではないかと思います。やっていることはいいけれど、このメンバーってところが引っかかるということですね。

(委員) 明野の子どもは1人はいるってことか。

(事務局) はい。

(委員) 明野の子どもが1人でもいるのならば補助金を出しても良いのではないかと。

(委員) 私は明野という名前があるのならば補助金を出しても良いと思う。30年以上の歴史のある明野のチームを守り抜いてくれている子どもたちを支えてあげる事は十分に補助金を出す理由になると思う。

(委員) 出すことは良いけど値段が高すぎる。他の事業には削減をさせて、明野少年少女合唱団はずっと同じ予算なのはいかがなものかと思う。でも、地域委員会で承知して予算を組むならそれで良い。

(委員) 現状維持でよいのではないかと。この『地域委員会』として補助金を出せるのはあと数年となる。大人の事業は何とか工夫してやればどうにかなるので、折角『明野』を背負って活躍してくれている子どもたちは、最後まで支えてあげたらどうか。

(賛成多数)

(議長) 私も事務局とこの案については打ち合わせをしたのですが、やはり、少子化問題が続く時代に遠くまで通ってくれている子どもたちの予算を削るのはちょっと難しいという意見が出るのではないかと考えていました。そのようなことを踏まえて、どの事業も厳しい状況ではありますが、減額になった事業は特に何とか頑張っていたきたいと思います。

(議長) それでは、他のところについてはどうですか。

(委員) 新児童にあげるクマ用の鈴は、以前テレビであの鈴を鳴らしていることによってクマが近づいてくると言っていた。クマを引き寄せると言ったら、保護者はかえって不安になる。付けている方が良いのか、付けていない方が良いのか。

(委員) クマが襲ってくるのは、クマが自分で逃げられない距離だと判断した時なので、鈴の音が遠くでなればクマは逃げていく。付けておいた方が良い。

(委員) 先ほど猟友会がクマに時間や危険度について言っていたが、市には、鳥獣害対策会というものがある。そこでシカを殺傷した場合の手当て、イノシシの場合の手当てとそれぞれに出ているが、クマには手当は出していない。だから、クマの対応をした分の捕獲時間について補助をした方が良いと思うが、どうか。

(委員) シカやイノシシは手当があるのだが、クマにはない。つまり、すべてがボランティアとなっている。県に言っても聞いてもらえずにいる。明野町は、クマはいるが、今のところ出てきていない。しかし、クマを追っている時間は全てボランティアである。明野だけでなく、他の町も出動手当というのではないが、そういったものをお願いできないだ

ろうか。

(議 長) 現在地域委員会の予算を削っている状況ですが、新しい事業の予算を設けたいということですか。

(委 員) 今の意見は県に言っても駄目なので、地域委員会や支所の方から市長さんを含めて、県に害獣に指定するとか、指定しなくても実際猟友会の人たちが出ているのだから、その手当ぐらい補助金として出すとか言ってもらいたいということ。そのために地域委員会の予算化をしろというのではなく、そういう風にすれば猟友会も動きやすいし、ボランティアではなくなる、と伝えたかった。

(事務局) 今のご意見は、こちらから林政課にお伝えします。

(議 長) 確認いたします。要するに今この地域委員会で猟友会のための予算を計上するというわけではなく、役割として市が行う事務処理について市長に意見を述べるということでしょうか。地域委員会の予算には関係ないけど、違う予算のことについて、地域委員会からこのような意見が出ました、と明野支所から伝えてもらえばよろしいですか。

(事務局) では、明野の地域委員会から今後の活動への意欲とか、後継者の育成とかにも影響するため、手当などを検討してほしい、という意見が出たので、考えていただきたい、と林政課にお伝えいたします。

(議 長) それでは、この件につきましては明野支所をお願いしたいと思います。

(委 員) ダイコン祭りはまた30万も減額で大丈夫なのか。

(事務局) やり方だと思います。例えば、ダイコン抜き体験の袋につきまして、今年はちょっと小さい袋だったのですが、来年もこのままでいいよね、となるのか、いや、元の大きさに戻すべきだとなるのかは実行委員会次第です。また、今年は、せっかく来てもダイコンがもうなかったという状況は申し訳ないことになるので、予約制でなかった分、袋の両方から大根を詰めることを遠慮していただきました。これは、会場でもアピールをしてご理解をいただくことで、何とか収まったという次第です。その他、市長が指示する手作りという祭りの方向性について、これは、どこの町ももう少し具体的に示してほしいという意見を出しているのですが、これも事務局だけでなく、実行委員のみんなでどう

る

ことによって、予算をうまく使えるのではないかと思います、減額の対象に致しました。

(委 員) ダイコンまつりはできるというならば反対はしないが、今年のようにダイコンが不作だったらどうするのか。今後は品質に対して保証というか、対応ができるのか。そういう工夫はできるのか。

(事務局) 生産者はプロではないので、できないと思います。しかし、今管理をお願いしてい

る組合の方は、おそらく例年通り3回は作業をしていただいたとは思いますが。

(委員) ダイコンまつりの袋代はどこのお金になっているのか。昨年の会計報告の時に繰越金で処理したという報告を受けているが。

(事務局) 会計上で繰越は本来あり得ないと思います。繰越金があるのなら補助金は少なくします。しかし、この余ったお金は袋を売った収益なので、繰越しをさせていただいたということがあったと思います。ただし、いろいろな解釈があるとは思いますが、補助金で行った事業で収益があるのはやはり疑問に思いますので、今年は繰越金がないように、あったとしても少額になるように進めております。

(委員) 了解した。今の時代そういったお金は疑われることがあるので、きちんとしてほしい。

(議長) どの事業もしっかりやっているとは思いますが。事務局の内容説明と皆さんからのご意見がありましたが、令和6年度の明野市域委員会予算につきましては、事務局の説明通りで委員会として承認していただけますか。

—異議なし。

(3) その他

(議長) その他につきまして、何かありましたらお願いいたします。

(委員) ダイコンまつりの出店者が、今年は5店だった。出店者が集まらないという状況で、出店者会議に出席した途端入り口でもう出店代を1万円支払わされた。お祭りだから協力しようと思っているので、儲けという考えで出店をしているのではないが、出店料が高すぎる。実際1万円を支払って、売り上げが2万円になる。来年はどのように考えているのかは分からないが、来年も出店料が改善しない限り出店はしない。

(事務局) 本来ならダイコンまつりの実行委員会で話すことではありますが、今年のダイコンまつりもいろいろなことが重なりながらの準備で、例年通りの会議を設けてしまいました。出店者の方々のご意向やお気持ちも考えず設定してしまい大変に申し訳ないことでした。ただ、実行委員会を行った際、会長からも出店料が高いのではないかと言われましたが、今回の出店者の様子でまた来年考えていくという意見でまとまりました。来年のダイコンまつりの実行委員会の際にそのようなご意見をいただけたらと思いますので、よろしく申し上げます。

(議長) 他に皆さんからなければ、私の方から1つお願いいたします。

先日9月の中旬に明野地域委員会の会長宛に「図書館を考えるやまねの会」というところから、「北杜市では北杜市で運営している図書館について図書館適正配置検討委員会の答申で図書館を3つにし、残りの5つの町は、コミュニティコモンズにして、明野図書館はなくなる」というような内容の文書をいただきました。そして、明野から図書館をなくさないでほしいというお願いと、明野総合支所の1階に

図書館を移転してほしいという意見要望をいただきました。そこで、支所長にも相談してのですが、この文書の扱いにつきましては、公共施設等総合管理等検討委員会というところで、「図書館は3つぐらいにするが、どこにするかということは未定」となっていました。その後、北杜市図書館適正配置検討委員会で審議をし、高根図書館、長坂図書館、大泉図書館の3つを図書館とし、残りはコミュニティコモンズという、図書館の機能だけは残す場所にするという提案をしているようです。また、代表として市長にするかはまだ検討中とのことでした。それと合わせて、10月16日に市政報告の際に、やまねの会の代表が図書館をなくさないでほしいとか、明野総合支所の1階に図書館を移してほしいなどと意見や質問をしてところ、市長さんや、教育委員会の方が回答をしていましたので、地域委員会での審議は必要ないと判断し、皆さんにご報告をいたしまして、終了したいと思います。

(委員) 一応会長の方から、地域委員会でこの要望について話をするという回答をした方が良いでしょう。

(議長) 了解しました。回答をします。

(委員) 私は、図書館だけでなく、総合支所や学校もなくなり、明野という地域がなくなっていってしまう、市がそうしたいんだろうと思っている。そして、祭り等も含めて、どうやって守っていくのか、地域委員会がなくなったら、本当に考えていかないと、もう本当に地域として成り立たなくなってしまう。だから、やまねの会の人たちは、たとえ小さな規模の図書館だったとしても、だんだん児童館もなくなっていく、総合会館もなくなっていく、舞台があるところも使えなくなってくると、地域に何が残るんだろう、という不安がいっぱいで、図書館を守ってほしいと思っているのだと思う。もっと地域委員会として、今後の明野地域を心配しなくてはいけないと思う。

(議長) はい。では、やまねの会には私から連絡をして対応をいたします。

(議長) その他に何かありますか。

(委員) なし

(議長) ないようですので、以上で議事を閉じさせていただきます。みなさまに御協力をいただき円滑に進行できましたことお礼申し上げます。

5 閉会（事務局）

会議の経過を記載して、その内容が相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和 年 月 日

会議録署名委員 _____

会議録署名委員 _____